

小学校中・高学年向け 約22分

気をつけよう！ ケータイ・ネットを使うとき 危険性を考え、ルールをつくる



中学生・高校生向け 約22分

便利？それとも危険？ ケータイ・ネットでの コミュニケーションを考える



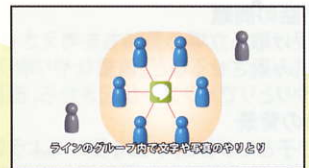
指導者・保護者向け 約23分

ケータイ・ネットここが心配 犯罪から子どもを守る



ネットで直面する問題

- 1 ネットのコミュニケーション
- 2 ネットいじめ
- 3 ネットの情報の見分け方と個人情報



ネットで子どもが直面する問題

- 1 ネットでの会話の問題
- 2 ネットいじめの背景
- 3 ネット依存の影響
- 4 個人情報盗まれる問題
- 5 犯罪の入口となる危険なサイト

スマートフォン
ケータイ
パソコン

上手に 安全に
正しく使うためには？



企画意図

パソコンや携帯電話、スマートフォンなどの普及が進み、多くの子どもたちもインターネットを利用するようになりました。その一方、電子メールやチャットなど、文字によるコミュニケーションがうまくいかずに、様々なトラブルや、深刻な問題が発生しています。インターネットはコミュニケーションの道具です。インターネット上で起きている問題の多くは、人と人との関係性のあり方、コミュニケーションのあり方の問題といえます。

本作品では、“コミュニケーションの道具としてのインターネット”という切り口で、インターネットを上手に安全に使う方法を学んでいけるよう、「小学校中・高学年向け」「中学生・高校生向け」「保護者・指導者向け」と、視聴対象者別に3作品制作しました。それぞれの立場から、「インターネットによるコミュニケーションとはどのようなものなのか」「より良いコミュニケーションのためには、どのようなことに注意したら良いのか」を考え、理解を深めさせる内容となっています。

インターネット教育DVD
小学校中・高学年 向け 約22分

**気をつけよう！ケータイ・ネットを使うとき
危険性を考え、ルールをつくる**

- 1 文字のやりとりでけんかになる
 - メールは、相手の気持ちを考え、言葉に気をつけながら送ることを心がけよう！
 - メールでケンカしてしまったら、直接会って話そう！
- 2 ネットでいじめになる
 - ネット上に、友だちの名前や写真などの個人情報を載せてはいけない！
 - 被害にあったら、親や先生などに相談しよう！
- 3 ネットが止まらなくなる
 - 「歩きながら携帯電話を使わない」「食事中は使わない」など、ネットのルールを家族で決めよう！
 - そのルールを友だちにわかってもらうように、話し合おう！
 - ネット以外の趣味を見つけたり、ネットを介さないで、人とコミュニケーションをとることも心がけよう！
- 4 めいわくメールがくる
 - メール本文に表示されているアドレスをクリックしたり、返信をしないようにしましょう！
 - 親に相談して、迷惑メール拒否の設定をしてもらおう！
 - ネットで個人情報を入力する前に、家族や先生などに相談しよう！

こんなときどうする？
みんなで意見を出し合おう



ライブラリー価格 **¥65,000+税**
学校価格 (小学校のみ) **¥33,000+税**

インターネット教育DVD
中学生・高校生 向け 約22分

**便利？それとも危険？
ケータイ・ネットでのコミュニケーションを考える**

- 1 ネットのコミュニケーション
 - メールは、もらった相手の気持ちを考えながら、言葉を選んで送る。そして、最後にもう一度読み直す。
 - メールのやりとりでトラブルが起きたら、直接会って話すことも解決法のひとつ。
- 2 ネットいじめ
 - ネットだけに頼らず、友だちと直接会って話し、信頼関係を築いていくことが大切。
 - 他人の個人情報をネットに流すことは犯罪なので、決して行ってはいけない。
 - ネットに個人情報を掲載されるようないじめを受けたら、一人で悩まず、親や先生など身近な大人に相談する。また、掲示板の管理者などに依頼して、その書き込みを削除してもらおう。
- 3 ネットの情報の見分け方と個人情報
 - 出会い系サイトは利用しない。方が一、出会い系サイトを利用して知り合った人に会いたいといわれても絶対に会わず、名前や電話番号を教えたり、写真を送ったりしない。
 - 何か問題が起きてしまったら、一人で悩まずに、家族や学校の先生など周りの大人に相談する。
 - 親と「フィルタリング」について話し合うことも必要。

中学生自身が
解決法を探ります



ライブラリー価格 **¥65,000+税**
学校価格 (中学校・高校のみ) **¥33,000+税**

インターネット教育DVD
指導者・保護者 向け 約23分

**ケータイ・ネット ここが心配
犯罪から子どもを守る**

- 1 ネットでの会話の問題
 - メールを受け取る立場の気持ちを考えさせ、相手を傷つける言葉などを使わないように教える。作ったメールを読み返させるなど、慎重なやり取りを教えることが重要。
 - メールのやりとりでトラブルが起きたら、直接会って話をさせる。
- 2 ネットいじめの背景
 - ネット上で子どもが誹謗中傷を受けるような被害にあった場合は、「画面にある『違反報告』ボタンから通報する」「掲示板管理者や掲示板を運営する会社に削除を要請する」などを行う。また、専門の相談窓口を積極的に利用する。
- 3 ネット依存の影響
 - 子どもがネット依存にならないために、スマホやパソコン等を使うときのルールを相談し、決めておく。
 - 子どもに、親自身が正しくスマホ等を使用する姿を見せることが大事。
- 4 個人情報が盗まれる問題
 - SNSなど、ネット上に写真を投稿する際は、GPS機能をオフにするよう指導する。
 - 迷惑メールに対しては、本文にあるアドレスをクリックしたり、返信をしないように注意させる。
- 5 犯罪の入り口となる危険なサイト
 - 出会い系サイトは利用しないことを指導する。被害にあったときは、警察に相談することも重要。
 - 子どもと「フィルタリング」について相談し、場合によっては活用する。

子どもを守るために
大人が教えずにはいけないことは？



ライブラリー価格 **¥65,000+税**
学校価格 (小学校・中学校・高校のみ) **¥33,000+税**

企画・制作
脚本・演出
コーディネーター

高木裕己
川崎けい子
斎藤晃顕

監修 元文部科学省国立教育政策研究所 総括研究官 有元 秀文
指導 一般財団法人 インターネット協会 大久保 貴世

制作・著作 株式会社 映学社
■DVD [カラー] / 2015年・映学社作品